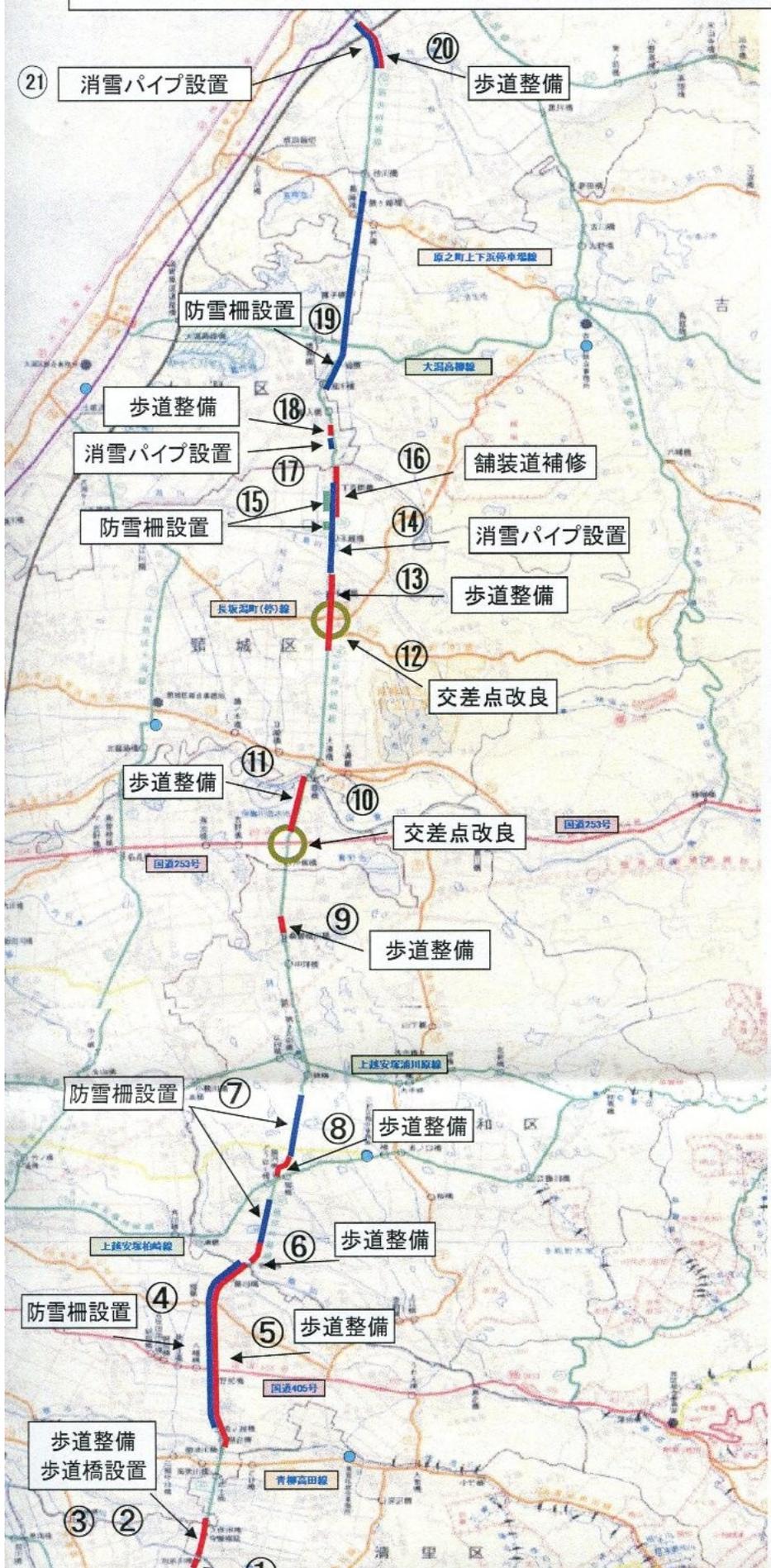


主要地方道 新井柿崎線 要望箇所



冬場は防雪柵が不可欠、通学路には歩道を！ 新井柿崎線整備促進議員連盟が県土木部長に要請

県道新井柿崎線整備促進議員連盟（宮崎政国会長）のメンバー11人は18日、県庁へ行き、田宮土木部長に要望書を手渡ししてきました（写真）。今回の要請活動には上越市選出の県議のみなさんからも同席してもらいました。

要望書は歩道の設置、防雪柵の設置など21項目にのぼります。宮崎会長の趣旨説明をうけて、田宮土木部長は、「この路線にかける

地域のみなさんの思いを切々と感じていた。合併後の連絡道路としても重要な道だと思っている。予算的には厳しい面もあるが精一杯やっつけていきたい」とのべました。

具体的な要望箇所については、折笠道路維持課長が具体的に回答しました。この中で同課長は、梶十文字付近の防雪柵についてふれ、「必要だと感じている。この区間だけ遅れた。仮設型の防

雪柵を140メートル（延長）できるとの手配している。また、固定型の防雪柵についてはすでに調査をつけている」とのべ、注目されました。また、強く要請した歩道についても細かな対応策について言及、「整備手法を見直し、全線の歩道整備率を上げる工夫をしていきたい」とのべました。

1日から12月議会

12月定例議会が1日から始まります。1日は、提案理由の説明、翌日から常任委員会審査が7日まで行われ、その後一般質問と続きます。

今議会では、原発事故に伴う放射能汚染対策、（仮称）厚生産業会館建設、行政改革などが議論の焦点となりそうです。詳しい日程は裏面に掲載しました。ぜひ傍聴にお出かけください。

春よ来い 第一八〇回 紅葉舞う中で

「うわーっ、これはいよいよ来たもんだ」小雨が降る中、柏崎の妻の実家の前で車から降りた瞬間、目に飛び込んできたのは庭の周辺にある赤と黄色の紅葉でした。あまりにも美しかったので、しばらくはカメラを持って紅葉を撮りまわりました。

この日は義父の一周忌法要でした。法要だけでなくお斎も自宅で営まれ、家族と妻の姉夫婦、義母の実家の人など十数人が集まりました。みんな気が知れている間柄なので、腰を痛めていた私や高齢の人をのぞくみんなが座布団を出したり、引き出物の大きな袋の中にお土産を入れたりして準備をしました。

お経が始まるまでのしばらくの間、話題となったのは一枚のプリントです。じつは、この日のために妻は短歌を一枚の紙にプリントして用意していたのです。短歌は、「四男に生まれ二歳で母逝きて父そして兄結核に死す」にはじまって、「提灯の灯を消さぬようそろそろと都会に住まう曾孫歩めり」まで二〇首ありました。生まれた家で父母や兄弟が次々と亡くなり、一六歳にして家を継ぐことになったことや戦争での苦しみ、義母との結婚のことなどが歌われています。私も読んでみてびっくりしたので、八十数年にわたる義父の生涯がこれらの歌にまとめられていました。

妻は柏崎市内の海岸部から出かけてきたTさんのところへこのプリントを持って行き、短歌で詠んだ事実関係に間違いはないか確かめてほしいとお願いしていました。

Tさんは少年時代、義父と同じ屋根の下で一三年間一緒に暮らした仲でした。居間の丸いテーブルのそばに座って、時々うなづきながらプリントを読んでいたTさんは、老眼鏡をはずすと、みんなに聞えるように大きな声で言いました。「よーわかっただ。間違いはない。すべて網羅されていて、凝縮されている」と。この言葉を聞いた妻は安心したのでしょうか、頬がゆるみました。

法要が始まったのは午前一〇時半過ぎでした。慶福寺住職の「次は〇〇ページを開きください」といった言葉に従いながら、舍利礼文などをみんなで読みました。この日は荒れ模様の天気、途中から雨の音が聞こえてきました。不思議なことに日が照っているのに雨が降っていました。風の音も賑やかになってきました。外を見ると、いくつもの紅い葉が舞い、地面を転がっています。私はしばらくその光景から目を離すことができませんでした。

お経が終わってお斎が始まる前、義兄が正座して「本日はありがとうございます」と挨拶しました。じつは親父が紅葉を愛でていまして、この時期に法事をやりたかったんです」と挨拶しました。

この挨拶を契機に、紅葉もまた話題となりました。ハッとすると美しい紅葉にひかれたのは私だけではありませんでした。川崎から来た人たちも妻の姉夫婦もほれこんでいました。この家の周りには元々あった木だけでなく、義父が美しい紅葉を楽しみたいと、わざわざ植えたものもあるといひます。義母は「いまになって色がついてきたんだよ。今年はすっかりダメだと思っていた」と言いました。義兄によると、紅葉は例年よりも四、五日ほど遅かったそうです。

生前、「四男は死なん」と言っていた義父、戦争に行つてマラリヤにかかったことは知っていました。用水路に落ち、危ない目にあつたことは知りませんでした。お斎の席で次々と亡き夫のことが話に出て、うれしかったのでしよう、帰り際に義母が言いました。「おじいさん、喜んでくれたと思うよ」と。

B級グルメでまちおこし

なかなかおもしろい市議会の勉強会でした。21日に行われた新潟大学法学部の田村秀教授の講演、「B級グルメでまちおこし」のことです。同教授は「地域を元気にするのが地方自治だ」とのべ、いまブームとなっているB級グルメについて語りました。

同教授はまず、地域活性化に関する課題や歴史についてふれ、「ハード中心からソフト中心へと移ってきている」「ないものねだりで奇抜なものを作るのでは

なく、地域の素材をうまく活かすことが大事」とのべました。そして、外から人を呼ぶ上で食べ物は大変なツールの

べ、宇都宮の餃子や讃岐うどんなどの事例を紹介しました。

なるほどと思つたのは、B級グルメの課題と成功の5箇条です。B級グルメで先行し、うまくいっているところでは、「地元で愛されていて、キーパーソンがいる」「B級の良さは安さにあり、食材は100%地元こだわっていない」といいます。これらは、「B級グルメ成功の5箇条」(①地元の人に愛されなければ始まらない、②ご当地グルメと「地産地消」を混同しない、③なるべく海産物に頼らない、④メニューは凝りすぎない、⑤飲食業界ばかりの利益を求めない)にまとめて示されました。

B級グルメについては、上越市では現在、焼きそばに力を集中しています。教授は、「焼きそばは全国各地で広がっている。地元で愛されているするてんや駅弁にもっと注目してもいい」とアドバイスしました。



12月定例議会議事日程	月日	曜	会議	担当
	12月1日	木	本会議・総括質疑	
	12月2日	金	厚生常任委員会	平良木
	12月3日	土	休会	
	12月4日	日	休会	
	12月5日	月	建設企業常任委員会	樋口
	12月6日	火	文教経済常任委員会	上野
	12月7日	水	総務常任委員会	橋爪
	12月8日	木	一般質問	
	12月9日	金	一般質問	
	12月10日	土	休会	
	12月11日	日	休会	
	12月12日	月	一般質問	
	12月13日	火	一般質問	
	12月14日	水	一般質問	
	12月15日	木	休会(議事整理)	
	12月16日	金	本会議・議決	